

黒潮町スポーツ合宿

1月中旬から3月中旬にかけて、スポーツ合宿が行われています。それぞれのチームの監督や選手からコメントをいただきました。

◆明治安田生命硬式野球部 2月12日(月)～22日(木)

森龍馬主将「競争意識を持って練習していきたい。1球に対して執念を持ち、それぞれの役割を理解した自立したチームをめざしたい」

岡村憲二監督「チーム内の競争が楽しみ。本気で日本一に向かっていき、まずは東京の激戦区を勝ち抜いて、5連勝で日本一をめざしたい」



◆作新学院大学硬式野球部 2月16日(金)～21日(水)

小平直道主将「チームワーク形成のため、グラウンド外でもしっかり交流をしていきたい。リーグ戦に向けて頑張る」

佐藤充彦監督「コロナウイルス感染症の影響で4年振りに町でキャンプができて嬉しい。選手の育成を頑張っていきたい」



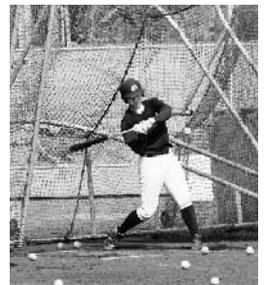
Topic 大方中学校野球部および黒潮スポーツ少年団の子どもたちを対象に、2月17日(土)、野球教室が行われました。同大学の学生らは、「子どもたちみんな楽しくやっていて、同じ目線で楽しんだ」、「すごく元気があって上手で、改めて原点に帰って野球することができた」と話しました。また、同校の生徒らは、「基礎を高める練習方法や、チームを盛り上げる方法が学べた」と話し、同団体の子どもたちは、「大学生とたくさん学べて良かった」と話しました。



◆同志社大学硬式野球部 (Bチーム) 2月22日(木)～3月1日(金)

長尾朝陽選手「今回町に来るのは2回目。1人でも多くAチームに行けるようにしっかりと練習していきたい」

竹川智之コーチ「自然豊かで、野球に集中できる良い環境。今回のキャンプで力をつけて、チーム力アップに貢献したい」



◆高岡法科大学硬式野球部 2月29日(木)～3月8日(金)

志水幹英キャプテン「良い環境で練習できて嬉しい。技術など、このキャンプ期間中にしっかりと磨いていきたい」

Topic 2月29日(木)および3月8日(金)に、地域貢献活動として同部全員で砂浜清掃を実施し、野球技術だけでなく人間性を育む取り組みを行いました。



◆札幌学院大学硬式野球部 3月5日(火)～20日(水)

小椋旭陽キャプテン「充実した環境でキャンプができて嬉しい。ご飯も美味しい。一部リーグ復帰をめざして頑張りたい」

平間康允監督「思い切り野球に打ち込めて、人としてもきれいになれる場所。キャンプ中の共同生活を通して、組織として一段と強くなって帰りたい」

